

# 長門の話題

## Topics



親子でシーカヤックに乘ろう

### ふるさとのよさを体験する

8月29日(土)、油谷青少年自然の家でわくわく土曜塾が開講され、親子でシーカヤックを体験しました。

はじめに油谷青少年自然の家にある体育館でシーカヤック組とレクリエーション組に分かれた後、シーカヤック組は近くの海岸へと移動。講師から簡単な説明を受けた後、

親子でシーカヤックに乗り、油谷湾へと出発。透き通った夏の海を1時間ほど楽しんでいました。またレクリエーション組ではゴム銃作りが行われ、自分だけの銃を作り、

的をめがけて撃っていました。子どもたちは「海がきもちよかった」など楽しそうに感想を語りました。

「ボートレーススケッチショップながと」オープン

### 駅周辺の振興につなげる

9月6日(日)、「ボートレーススケッチショップながと」がオープンしました。

この施設は、ボートレース下関を運営する下関市が建設したもので、80台分の駐車場が整備され、ほぼ毎日午前10時から午後9時まで、全国のボートレース場のチケットを購入することができます。



▲式典には長門、下関両市長が出席



▲綺麗な海を1時間カヤックでこぎまわる



▲ゴム銃をつくり的をめがけて撃った

日本航空株式会社と連携協定を締結

### 地域活性化をさらに進める

8月27日(木)、市本庁舎で日本航空株式会社との連携協定締結式が行われました。

日本航空株式会社とは、JAL向津具ダブルマラソンや元乃隅神社での共同観光PRなどにより相互に関係を構築しています。今後は、長門市にある豊富な観光資源の活用を中心に地域活性化を進めていくこととしています。



▲民間企業との連携協定は今回で13例目

# 長門の 人 People

建設業をもっと身近に

なかしま かずひこ  
**中嶋 和彦さん**

(山口県建設業協会  
長門支部青年部会)

県内の建設業協会の支部として初の青年部会が発足し、その部長に就任した中嶋さん。建設業は仕事の内容が見えにくいため、もっと多くの人に知ってもらいたいとの思いから、若手の経営者で青年部会を設立しました。

中嶋さんたちは、これまでもイベントで重機の試乗体験などを行い、建設業を身近に感じてもらおう取組をしてきました。今後も、建設業従事者による献血

活動など新しいことにも取り組みながら、地域への貢献を続けていくことにしています。

中嶋さんは、「建設業は道路や橋をつくり、地図に残るやりがいのある仕事。ドローンやICTなど新しい技術を取り入れながら、次の世代につなげていきたい。ふだん何気なく使っている建設物がどのように作られているのかを知って、建設業に興味を持つきっかけとしてもらえれば」と話しました。



しゅん な  
**旬**な人



▲「はたらく車」は子どもたちに大人気

長門の美味しいものをご家庭で

## ドライブスルーinながと

9月13日(日)、湊地区駐車場において、「ドライブスルーinながと」が開催されました。

市内10店舗15種類の弁当を車から降りることなく購入できるイベントとして、一般社団法人長門青年会議所の主催により行われました。会場には長い車の列ができ、10個以上の弁当を注文する人もいるなど、大盛況となりました。

長門青年会議所の田中宏之

さんは、「ドライブスルーであれば、このコロナ禍でも運営が可能で、飲食店の応援につなげられるのではないかと考え、実施した。今後も、地域住民の期待に応えられるよう、そのときの状況に応じたイベントを実施していきたい」と話しました。

用意された約500食の弁当は1時間半ほどで完売したとのこと。



▲長門料飲組合や商工会議所青年部が協力



▲長門の食文化を守りたいとの思いから開催